



# 実践的な手術手技向上研修事業

岡山大学病院 集中治療部

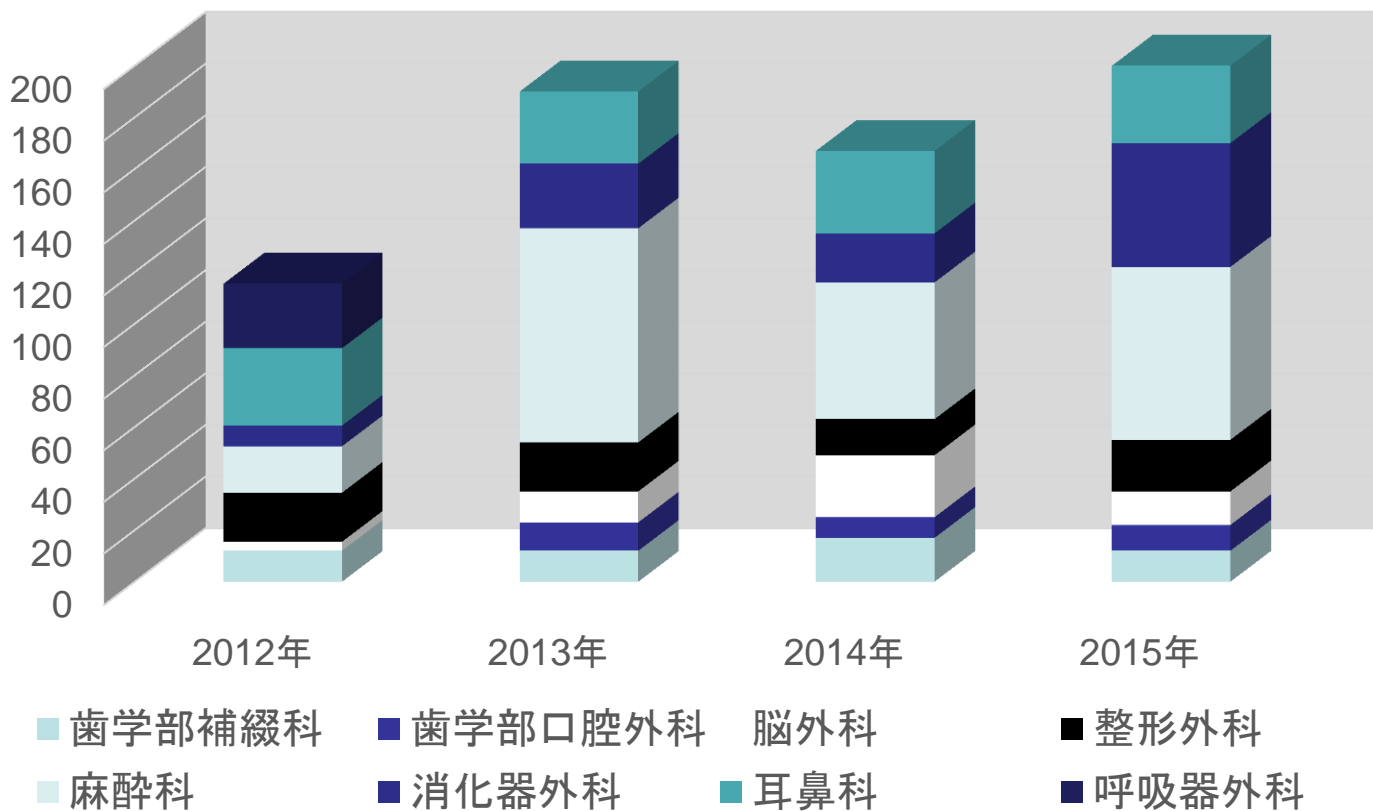
武田 吉正

岡山大学医歯薬学総合研究科人体構成学教室

大塚 愛二



# 参加診療科の内訳





## 参加診療科の実習内容

歯学部補綴科：CT画像の解説とインプラントの実習

口腔外科：大胸筋の有茎皮弁、頸部郭清術、顎関節開放術の実習

脳外科：CT画像を用いたナビゲーション手術の実習

外科：骨盤領域、鼠径ヘルニア、胃、食道、膵臓の内視鏡手術の実習

整形外科：肩関節手術、股関節手術の実習

耳鼻科：中耳顕微鏡手術、副鼻腔手術の実習

麻酔科：神経ブロックの実習



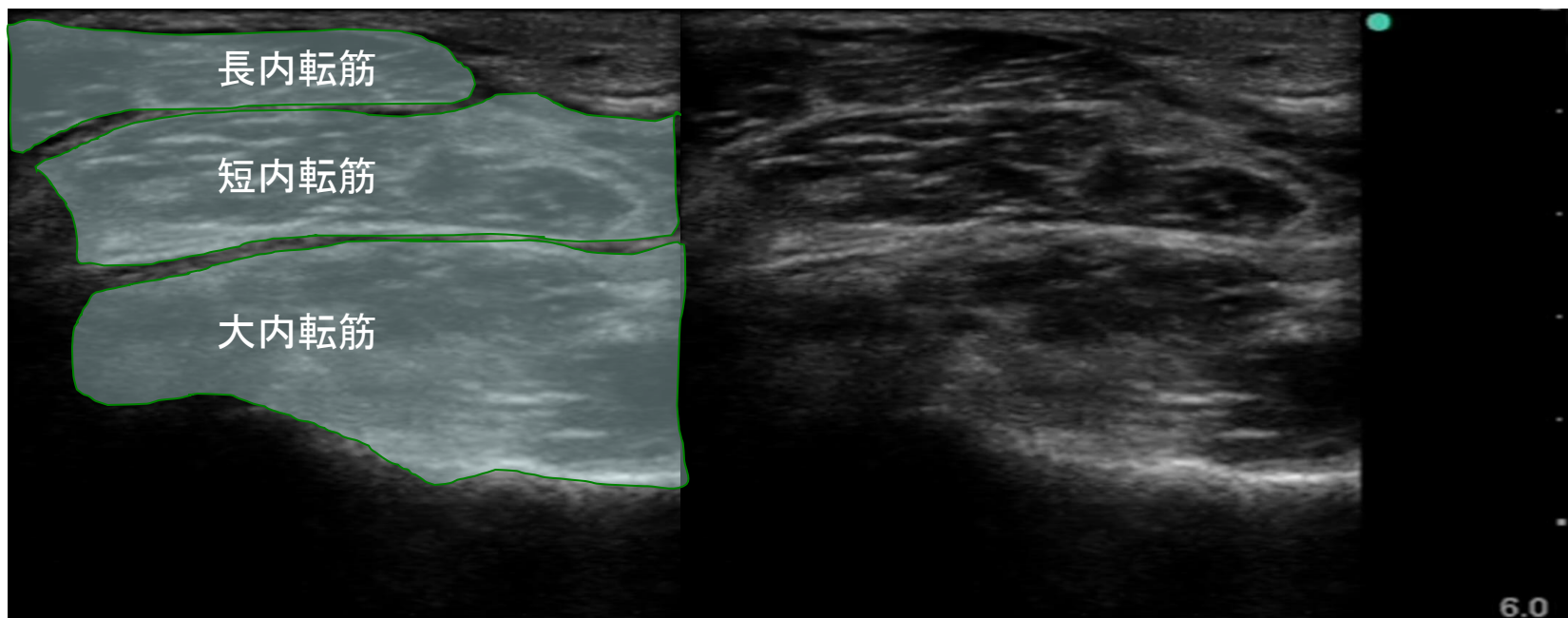
# これまでに経験した課題と解決策

【2013年】

## 1. エコーの使用

Thiel法によるSoft fixationを採用

解剖前日に4~10リットルの生理食塩水を輸液





# これまでに経験した課題と解決策

【2013年】

## 1. エコーの使用

Thiel法によるSoft fixationを採用

解剖前日に4~10リットルの生理食塩水を輸液

【2014年】

## 1. CT、MRI画像の使用

倫理委員会の承認

気密容器に入れて撮影

水分量の多い部位は1.5T、少ない部位は3TのMRIが適している



# これまでに経験した課題と解決策

【2013年】

## 1. エコーの使用

Thiel法によるSoft fixationを採用

解剖前日に4~10リットルの生理食塩水を輸液

【2014年】

## 1. CT、MRI画像の使用

倫理委員会の承認

気密容器に入れて撮影

## 2. 虚脱した動静脈の復元

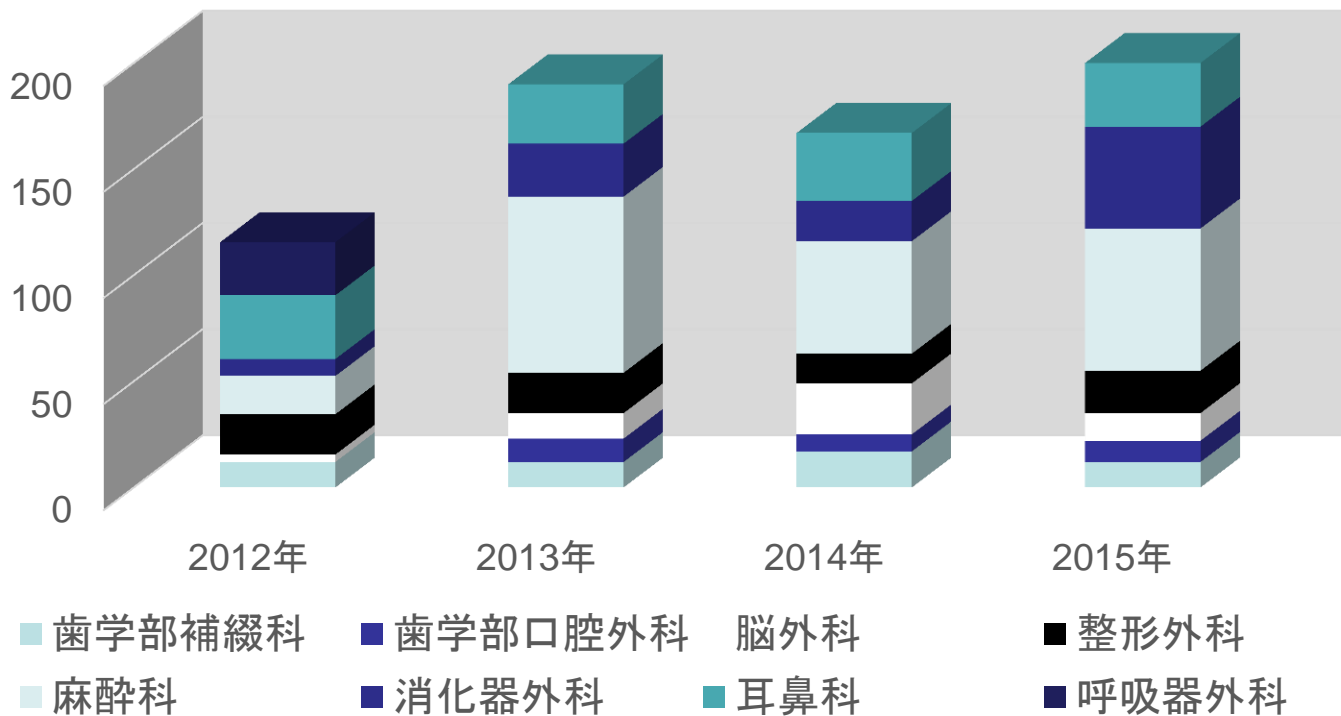
着色シリコンの注入





# 今後の課題（参加費が事業に与える影響）

交付金採択額	4,474,000	8,707,000	5,046,000	2,574,000
交付金受領額	4,474,000	8,707,000	3,726,000	2,574,000
寄付金	0	0	1,499,506	3,000,000
総事業費	4,474,000	8,707,000	5,225,923	5,574,000





# 参加応募推移 (麻醉科)

参加者数  
(人)



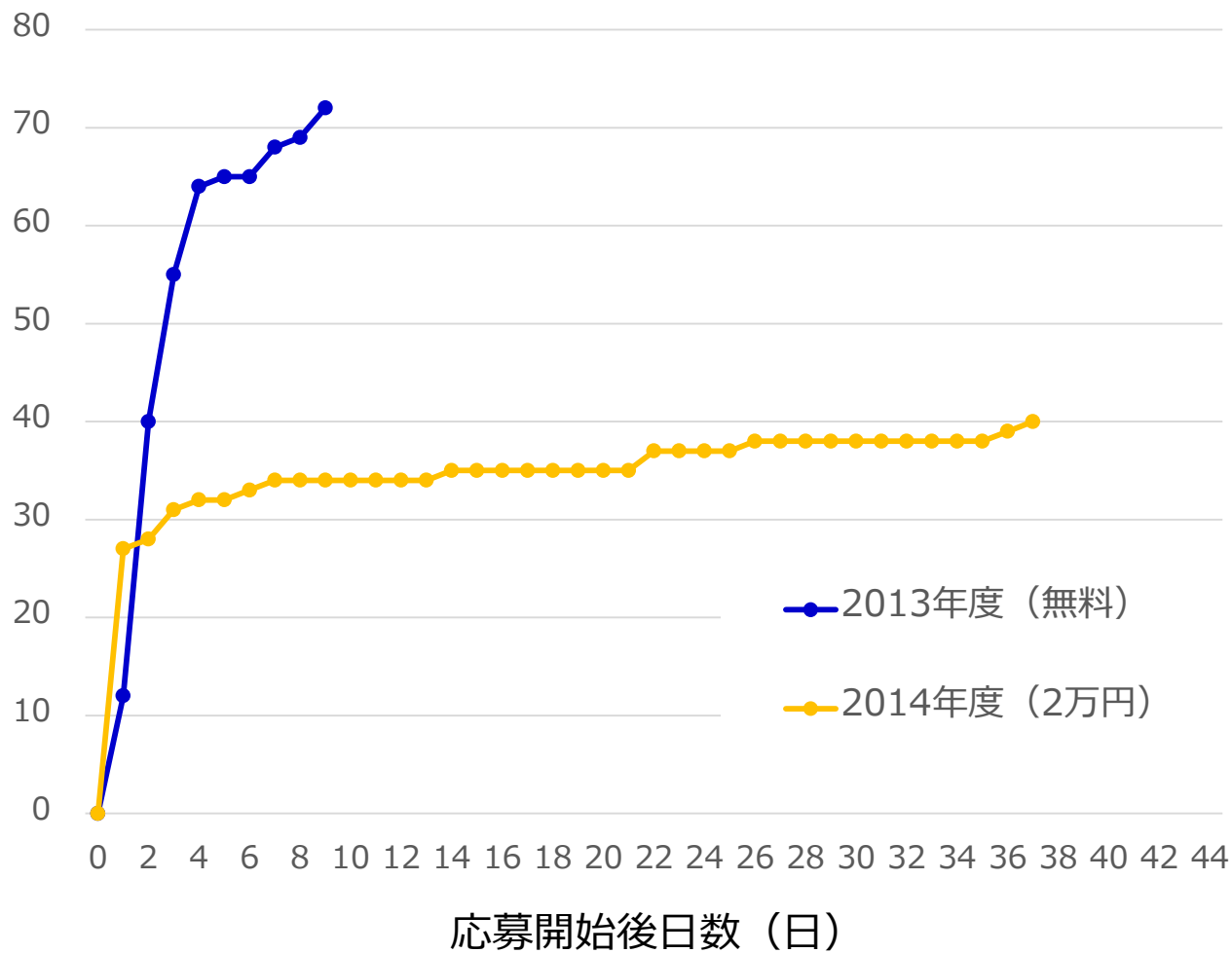
● 2013年度 (無料)





# 参加応募推移 (麻醉科)

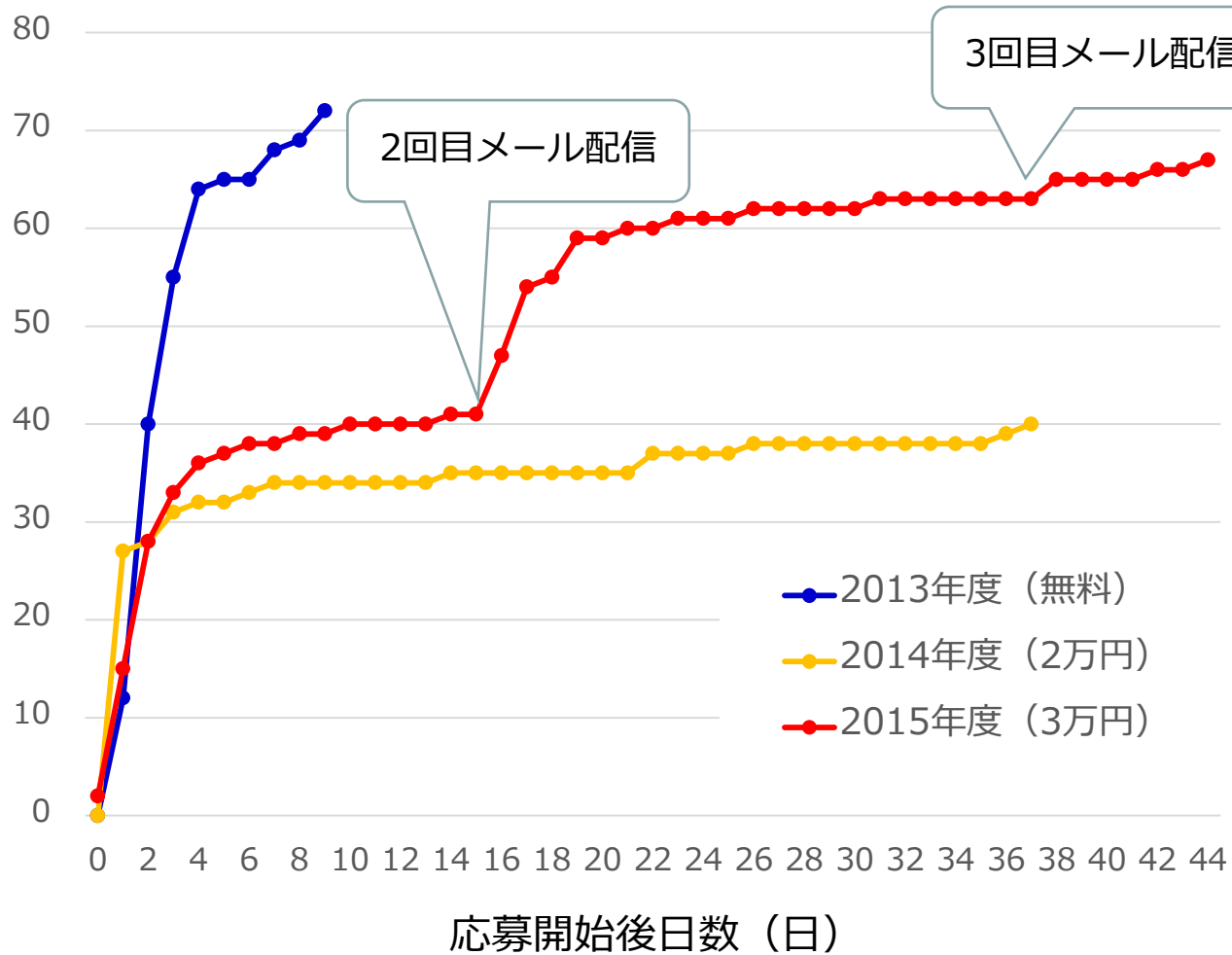
参加者数  
(人)





# 参加応募推移 (麻醉科)

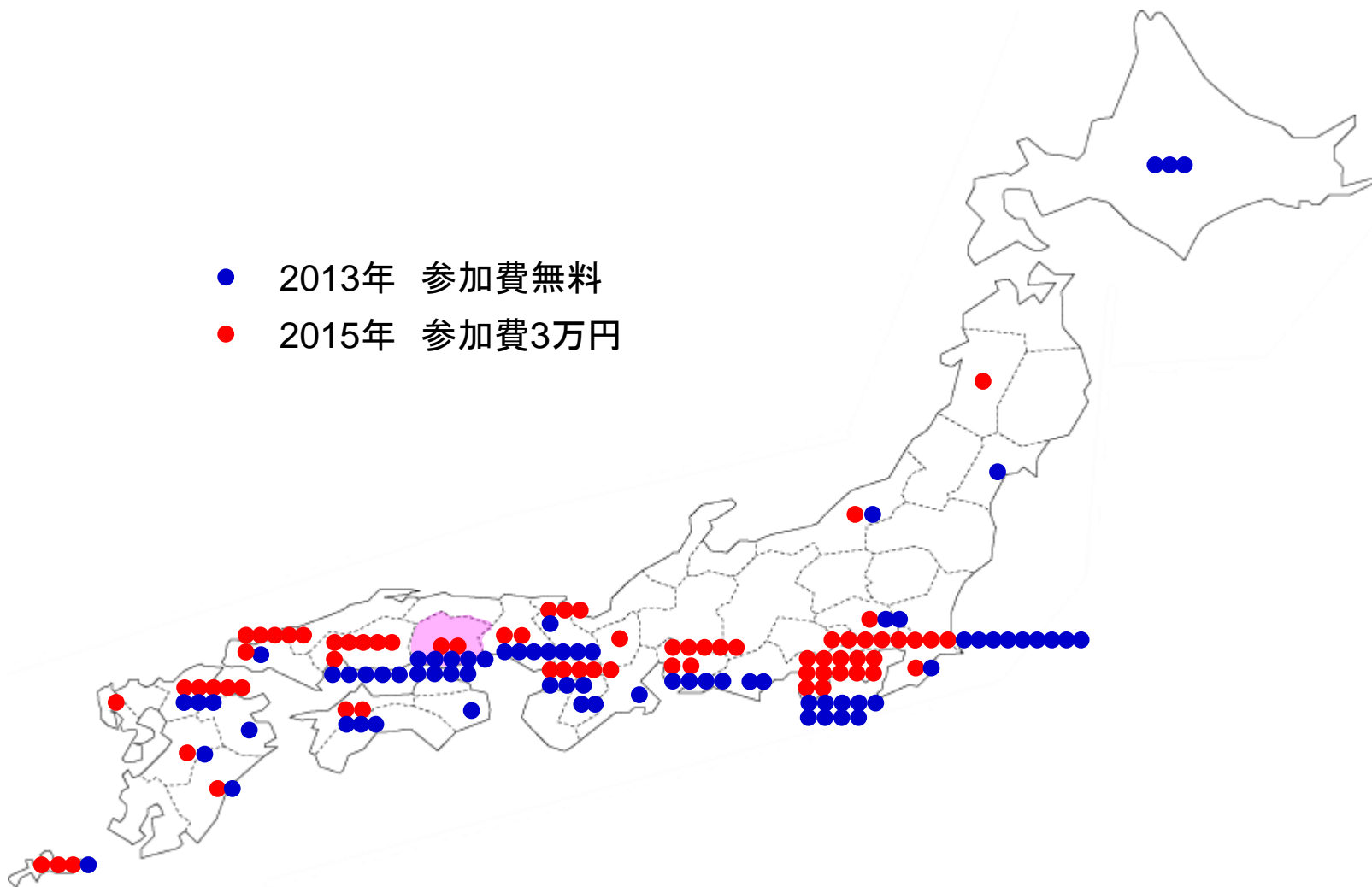
参加者数  
(人)





## 参加者の分布（麻醉科）

- 2013年 参加費無料
- 2015年 参加費3万円

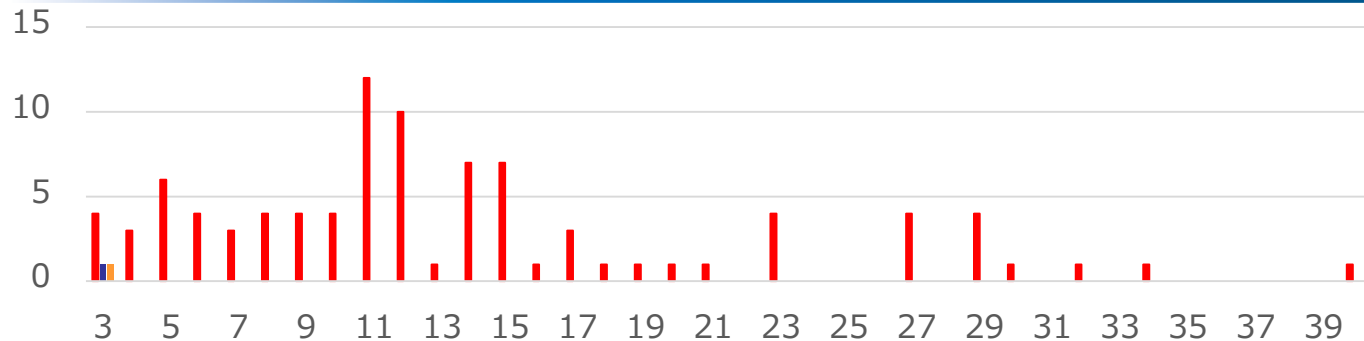




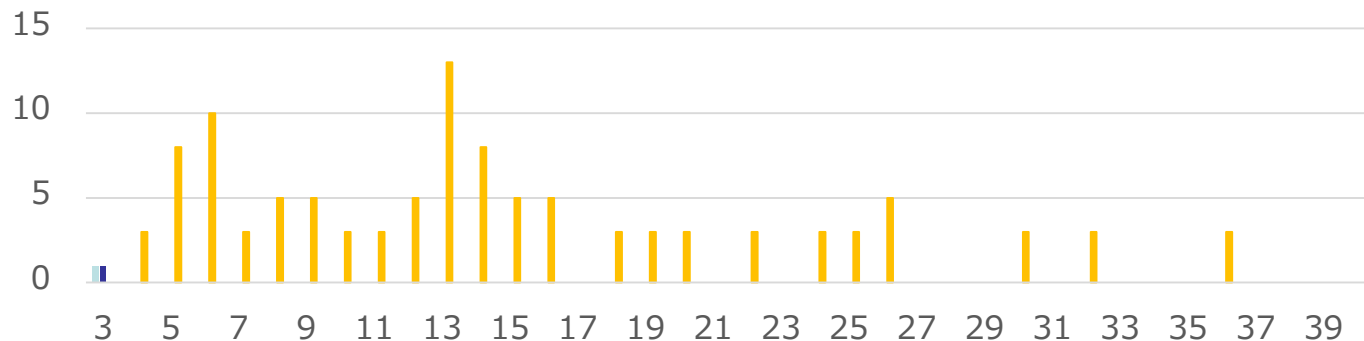
# 参加者に与える影響（麻醉科）

参加者数 (%)

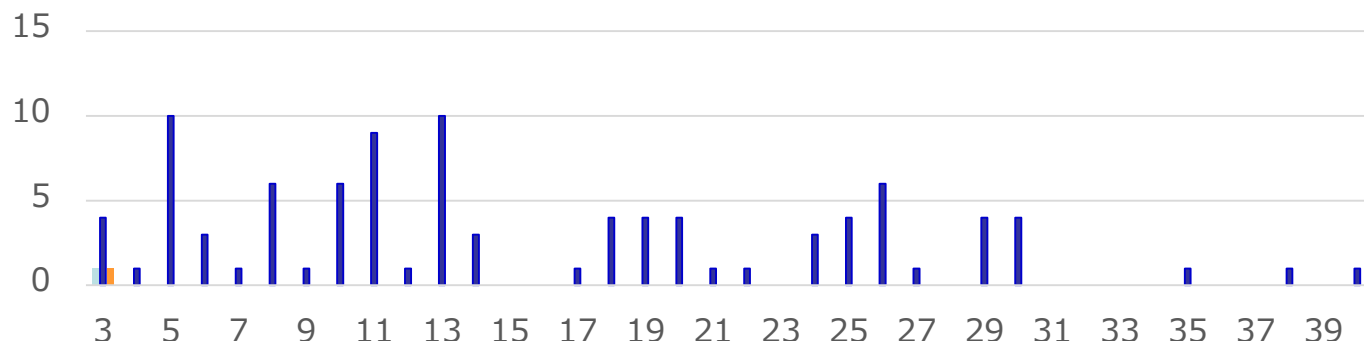
2015年度  
参加費3万円



2014年度  
参加費2万円



2013年度  
参加費無料

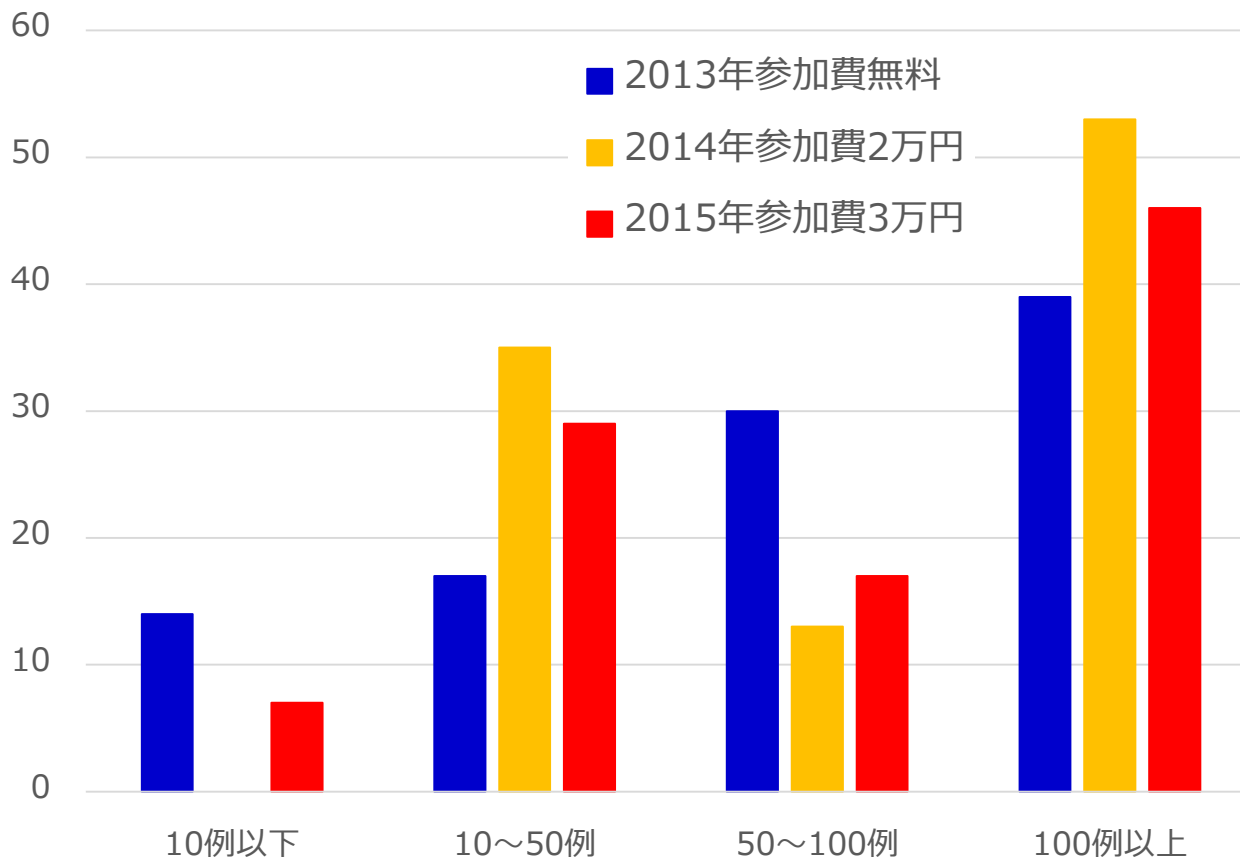


卒後年数 (年)



# 参加者に与える影響（麻醉科）

参加者数 (%)



神経ブロック年間施行数（症例数）



## まとめ

1. 参加者数は200名程度で推移
2. シール法で固定し、前日に生理食塩水を輸注することでエコーが使用可能
3. 水分量の多い部位は1.5T、少ない部位は3TのMRIが適している
4. 着色シリコンの注入は虚脱した血管の復元に有効
5. 有料化した場合、募集の周知と募集期間の確保が必要
6. 有料化は参加者の分布に大きな影響を与えない  
有料化とは関係なく、交通アクセスの良い地域から参加者が多い